

1 分科会 研究課題「教育課程に関する課題A」

研究主題「信頼される学校づくりに向けた情報発信における教頭の関わり方について」

提言者 宮崎支会 宮崎市立青島小学校 冨迫 裕紀子

## 1 主題設定の理由

第2次宮崎県教育振興基本計画では、「地域と学校の連携・協働の推進」の「取組2-4 学校からの情報提供の充実」の項目において、日頃から学校からの適切な情報提供を推進することが記載されている。

第2次宮崎市教育ビジョンにおいては、基本目標3「地域・家庭・学校が連携した教育の充実」の主な施策3「開かれた学校づくりの推進」の中で「子どもたちが、安心して充実した学校生活を送ることができるようにするため、学校と家庭・地域が連携して取り組む、開かれた学校づくりを推進します。」と記載されている。このことはWebページの開設等で学校からの情報発信力を高めていくことを目的としていることでもある。

また、昨年度より新型コロナウイルス感染症予防のために、学校における様々な行事等が中止になったり、教育活動が変更になったりと対応する状況が時々刻々と変化し、保護者や地域への早急な情報提供を必要とする場面が多々ある。そこで、信頼される学校づくりのために、正しい情報を早く保護者や地域へ提供する際の教頭の関わり方を明らかにしたいと考え本主題を設定した。

## 2 研究のねらい

保護者や地域に信頼される学校づくりのために、学校からの様々な情報を提供するための手立てについて教頭の関わり方を明らかにする。

## 3 研究の概要

### (1) ホームページの定期的な更新

#### 〔具体的な取組〕

#### ① 保護者に向けた学校からの様々な連絡や情報提供

保護者に向けた学校からの連絡等について、紙媒体による情報提供を行うとともに、ホームページ上でも情報提供を行った。紙媒体をPDFにして掲載し、いつでも見ることができるようにした。

### ② 日常における児童の活動の紹介

写真とコメント付きで児童の学習や生活の様子を紹介した。学校での日常の様子を保護者や地域に伝えることで、学校経営方針や主体的な教育活動の理解につなげている。

### ③ 給食日記

毎日の給食の献立や実際の写真を掲載し、一言コメントを入れて掲載した。また、食育に関する情報提供を行った。

〔教頭の関わり〕

- ・ ホームページを活用して、学校からの連絡事項がある際に、案内文と添付ファイルを掲載するようにしている。市教育委員会からのコロナ関連の対応についてはその日のうちに文書を掲載している。
- ・ 掲載内容を起案によって確認し、正確な情報を迅速に家庭・地域に届けるとともに、著作権や個人情報の取扱いに配慮している。

### (2) 一斉送信システムの効果的な活用

#### 〔具体的な取組〕

#### ① 感染症対策に係る内容

新型コロナウイルス感染症予防のための様々な取組を学校としては取り組んでいるが、感染症予防のための注意喚起や感染症予防に関する対応等、保護者に早急に伝えるべき内容がある場合に活用した。同時に、お知らせ文書をPDFにして添付した。

#### ② 災害等に関わる登下校時の対応に係る内容

大雨による下校時刻の変更や迎えの要請、注意喚起など、急を要する情報提供や依頼などがあり、状況に応じて活用した。

#### ③ その他の災害等以外への対応

大雨以外の災害、不審者等の情報提供を連絡できるようにしている。

#### ④ P T A 会合等の日程連絡・確認

新型コロナウイルス感染症予防のため、会議等も縮小されている中、必要な連絡等の情報提供を行っている。また、様々な連絡について、内容に応じて該当する学年等に情報提供を行った。

新入学児童用として就学时健康診断や入学説明会の際に登録を依頼し、その後の連絡に活用した。

〔教頭の関わり〕

- ・ 様々な連絡事項に対するメッセージの作成と送信作業を行っている。
- ・ 校長と発信内容を確認し、連絡事項を端的に伝えるようにしている。
- ・ 緊急を要する連絡事項について、一早く保護者に連絡する。また、一斉送信システムでPDFにした文書を添付したり、やホームページに掲載したりして連絡することで、迅速、かつ、確実に連絡できるようにしている。

### (3) 地域との連携

〔具体的な取組〕

#### ① コミュニティスクール発足に向けて

各地区学校運営協議会設立に向けて、市教育委員会企画総務課の指導を受けて、地域と一体となった特色ある学校づくりを進めていけるように準備を進めている。そのための窓口としての役割を果たせるように機会を見つけて保護者、地域へ情報発信していく。

#### ② コミュニティスクール充実に向けて

各地区学校運営協議会の充実に向けて、教職員への研修を企画した。研修は、中部教育事務所研修サポートとして、家庭・地域教育担当の主幹、指導主事、連携推進アドバイザーを講師に迎え「学校運営協議会の役割とその効果等について」をテーマに講話を行っていただいた。小中学校合同研修として教職員が参加した。

〔教頭の関わり〕

- ・ 地区の総会や青少年育成協議会等で地域の方々と接する機会を活用して学校運営協議会について周知することを進めていく。
- ・ 学校運営協議会の充実に向けて地区の学校同士で連携を取り合って準備を進めていくようにする。その際、校長に指導

を仰ぎながら各学校の役割を分担するようになる。

- ・ 学校運営協議会に関する教職員の研修を企画し、質疑等を集約し今後に生かしていく。

## 4 成果と課題

### (1) ホームページの定期的な更新

- 保護者向けに緊急の連絡をしたり、児童の日常の様子を更新したりすることにより、アクセス数も増え、学校教育活動に対する理解を得られることができた。また、新型コロナウイルス感染症に対する市教育委員会の対応について正確に情報提供することができた。
- 保護者のニーズに合った内容の掲載に努めていく必要がある。

### (2) 一斉送信システムの効果的な活用

- 緊急の連絡については、学校全体に一斉に送信したり内容によって必要な学年に送信したりすることができ、保護者への適切な情報提供を行うことができた。
- PDFにした文書の添付をすることにより、詳しい内容をお知らせすることができた。
- 停電やマチコミメールの一斉活用の際、機器対応不能の事態も想定される。
- 活用する際、内容の精選を図っていく必要がある。

### (3) 地域との連携

- 学校運営協議会の充実に向けて地区の学校同士で連携を取りながら準備を具体的に進めることができた。
- 小中学校合同研修の設定により、教職員への啓発と意識の向上が図られた。
- 今後の学校運営協議会の進め方について共通理解できた。
- 実践モデル校の事例をもとに効果的な運営の仕方について協議していく必要がある。
- ホームページ等で学校運営協議会についての情報提供も行っていくようにする。